事業シート（令和9年度予算）

事業名	21003　多様性推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	男女共同参画基本計画、人権施策推進指針、過疎地域持続的発展計画
					款	2	総務費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
					項	1	総務管理費		分野別	政策分野		着実な計画の推進	市長公約	
担当課	市民活動部　生涯学習課	内線	2350		目	10	市民活動推進費			施策分野		市民協働・情報発信・多様性		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・誰もが多様な生き方や働き方を選択することができ個性や能力に応じて活躍できる社会の実現を目指す。 ・高山市男女共同参画基本計画の着実な推進を図る。 ・高山市人権施策推進指針に基づき人権尊重の理念に対する理解を深める。 ・平和に対する意識の醸成を図る。	概要	・男女共同参画の推進 ・人権啓発活動の実施 ・多様性の推進に関する講演会の開催 ・パートナーシップ宣誓制度の推進 ・高山人権擁護委員協議会への助成 ・平和に関する啓発活動の実施

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「年齢や性別、障がいの有無、国籍などに関わらず、多様な生き方・暮らしの方への理解が深まっている」と感じている市民の割合	45.0%		↗

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		2,031	1,406	2,371			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　人権啓発活動費　）	587	456	925			
	その他（　　）						
一般財源		1,444	950	1,446			

新規・拡充	主な事業内容						
	講演会の開催等による啓発	660	535	1,000			
	人権擁護委員協議会の活動支援	592	592	592			
	平和の日・平和都市宣言の啓発	100	72	100			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 / 増減 (d)-(c)
			2,100
2,205			△ 166
633			△ 292
1,572			126

要求額	説明
682	
600	
90	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・多様性講演会の開催（1回）　参加者数　400人 ・男女共同参画パネル展の開催（1回） ・市ホームページへ人権だよりの掲載（12回） ・人権パネル展の実施（1回） ・高山人権擁護委員協議会への助成 ・犯罪被害者に対する見舞金制度（0件） ・平和に関するポスター展の開催（1回） ・こどもたちによる「平和なまち」絵画コンテスト応募作品の展示 ・各種媒体を活用した啓発活動	
評価等	・男女共同参画パネル展でシールアンケートを実施し、市民の男女共同参画に対する意識や関心を可視化した。 ・人権だよりを市のホームページに掲載することで、関連する相談窓口などの連絡先などが見つけやすくなった。 ・平和に関するポスター展の内容を見る人に問いかける内容にしたことで、戦争や平和について考える機会を提供できた。 ・各種取り組みを継続的に実施していく必要がある。	
次年度以降の考え方（担当課）	・男女共同参画社会実現に対する社会全体の機運を高めるため、職業生活における活躍やワーク・ライフ・バランスの推進を図る。 ・第5次男女共同参画基本計画に基づき、行政・地域・事業者が協働・連携した取り組みを進め、市民の男女共同参画に対する意識の高揚を図るとともに、本計画の必要性や時代に即した方向性、見直しの検討を進める。 ・社会情勢の変化に対応した人権施策推進指針の見直しに向けて検討を進める。 ・市民の平和への意識が高まるよう市民の主体的な取り組みにより重点を置く。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	94100　社会教育推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
					項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	
担当課	市民活動部　生涯学習課	内線	2349		目	1	社会教育総務費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・社会教育の推進を図る。 ・地域づくり活動の充実に資する学びを推進することで、地域コミュニティの活性化を図る。	概要	・社会教育委員会議の開催 ・県や飛騨地区の研修会等への参加

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		1,237	589	1,390			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（　）						
一般財源		1,237	589	1,390			

新規・拡充	主な事業内容						
	社会教育委員会議の設置	892	382	765			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	R9予算 市長査定額	実施計画額 / R9予算 増減 (d)-(c)
			1,300
1,048			△ 342
1,048			△ 342

要求額	説明
510	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・社会教育委員会議の開催（3回）　※オンライン併用 ・県及び飛騨地区の研修会等への参加	
評価等	・生涯学習・社会教育活動について認識を深めるため、オンラインも併用しながら各種大会や研修会等へ参加した。 ・実効性のある審議を行うため、開催回数の規定を撤廃し、審議事項に応じて随時会議を招集できるよう規則改正を行った。	
次年度以降の考え方（担当課）	・各種施策の推進や各種計画の見直しにおいて、社会教育委員との意見交換等を行いながら、取り組みを進める。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	94110　市民憲章推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
					項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	
担当課	市民活動部　生涯学習課	内線	2350		目	1	社会教育総務費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・市民憲章の推進を図る。	概要	・高山市民憲章推進協議会への支援

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		4,700	4,411	4,500			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（　）						
一般財源		4,700	4,411	4,500			
新規・拡充	主な事業内容						
	高山市民憲章推進協議会の活動支援	700	700	800			
	高山市民憲章推進協議会の活動支援（花いっぱい運動）	4,000	3,711	3,700			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	4,700 増減 (d)-(c)
4,500			0
4,500			0
要求額	説明		
900			
3,600			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・市民憲章推進協議会への支援 花苗配布　186団体　苗96,002株 あさがおの苗配布　11団体　苗816株 施設の市民無料公開　32施設　来館者　10,803人 版画年賀状コンクール　応募　250点 版画年賀状作品展　来場者　375人 ※高山市青少年育成市民会議主催　家庭の日図画・ポスター展、家族スナップ写真展と同時開催	
評価等	・市民憲章推進協議会の活動を通じ、市民憲章の理念の浸透を進めている。 ・市民等が一体となって市民憲章の実施に取り組む必要がある。 ・小学生に出前授業を行い、市民憲章の目的が伝わる啓発を行った。	
次年度以降の考え方（担当課）	・事業全体の検証を行いながら、高山市民憲章の周知を図る。 ・市民のための施設無料公開に参加協力する施設の多様化を図る。 ・あさがおの苗の開花率が低いとの報告があったため、苗の変更を検討する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	94200　文化会館管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画
					款	9	教育費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
担当課	市民活動部　生涯学習課	内線	2349		項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	Ⅲ　まちを整える 暮らしを豊かにする環境を整備します
					目	2	文化会館費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・文化会館の適正な管理運営と、市民の多様な利用を促進する。 ・市民の文化芸術の向上と福祉の増進を図る。	概要	・指定管理者による施設の管理運営

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
文化芸術や生涯学習などに触れ、学び、成果を活かせる環境が整っている」と感じている市民の割合	56.0%		↗
生涯学習施設利用者数（年間）	665,426人		650,000人

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費 （職員人件費を除く）		R7		R8			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		453,113	452,440	118,270			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（　使用料　）	58	81	56			
一般財源		453,055	452,359	118,214			
新規・拡充	主な事業内容						
	市民文化会館の管理運営	449,238	448,588	96,030			
	施設整備・備品購入	3,875	3,852	22,240			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算		実施計画額	95,100
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)-(c)
95,298			△ 22,972
80			24
95,218			△ 22,996

要求額	説明
94,798	
500	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・指定管理者による施設の管理運営 ・利用状況 利用件数　6,644件（市民文化会館：1,438件、市公民館：5,206件） 利用者数　206,902人（市民文化会館：99,377人、市公民館：107,525人） ・施設整備 エアコン設置工事　ほか ・市民文化会館の土地購入	
評価等	・ニーズに対応した運用を図る必要がある。 ・施設の利便性の向上や安全性の確保に向けた整備を行う必要がある。 ・駅西地区のまちづくりに合わせ、複合化・多機能化などの検討をすすめた。 ・施設予約システムの運用により、利用者の利便性が向上した。	
次年度以降の考え方（担当課）	・施設予約システムの改善などにより、より一層の利用促進を図る。 ・会館の維持に必要な整備を実施する。 ・駅西地区まちづくり構想に基づき、具体的な機能等の検討をすすめる。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	94300　公民館管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
					項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	Ⅲ　まちを整える 暮らしを豊かにする環境を整備します
担当課	市民活動部　生涯学習課	内線	2349		目	3	公民館費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・公民館の適正な管理運営と、市民の多様な利用を促進する。 ・市民の生涯学習及び交流をはじめとする、多様な活動の推進を図る。	概要	・指定管理者による施設の管理運営

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
文化芸術や生涯学習などに触れ、学び、成果を活かせる環境が整っている」と感じている市民の割合	56.0%		↗
生涯学習施設利用者数（年間）	665,426人		650,000人

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費 （職員人件費を除く）		R7		R8			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)−(a)
		87,086	83,968	84,530			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（使用料、土地貸付収入　　）	1,345	1,123	1,117			
一般財源		85,741	82,845	83,413			
新規・拡充	主な事業内容						
	公民館の管理運営	63,710	62,684	56,310			
	施設整備・備品購入	23,376	21,284	28,220			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算		実施計画額	67,400
要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	増減 (d)−(c)
61,720			△ 22,810
1,149			32
60,571			△ 22,842

要求額	説明
56,020	
5,700	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・指定管理者による施設の管理運営（12施設のうち4施設） ・利用状況 利用者数　173,076人（高山市公民館を含む） ・施設整備 秋神研修センター解体工事　ほか ・高根公民館については令和7年度中に廃止した。
評価等	・施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 ・施設の利便性の向上や安全性の確保に向けて施設整備を行った。 ・定期報告等に基づく施設整備を行う必要がある。 ・公共施設等総合管理計画に基づく施設の統廃合や多機能化を検討する必要がある。 ・施設予約システムの運用により、業務効率と利用者の利便性が向上した。
次年度以降の考え方（担当課）	・施設予約システムの改善などにより、より一層の利用促進を図る。 ・LED照明への切替など必要な整備を実施する。 ・公共施設等総合管理計画に基づく施設の整理をすすめる。 ☑ 維持・改善　☐ 拡大　☐ 縮小　☐ 廃止検討　☐ R7完了　☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方（担当課）	☐ 維持・改善　☐ 拡大　☐ 縮小　☐ 廃止検討　☐ R8完了　☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・公民館の施設整備に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	94400　女性青少年会館管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画
					款	9	教育費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
担当課	市民活動部　生涯学習課	内線	2361		項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	Ⅱ　いとなみを育てる 若者と女性が活躍できるまちをつくります
					目	4	女性青少年推進費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・女性青少年会館の適正な管理運営と、市民の多様な利用を促進する。 ・勤労青少年ホームを活用した各種事業の実施により、青少年の健全育成を図る。	概要	・指定管理者による施設の管理運営

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
文化芸術や生涯学習などに触れ、学び、成果を活かせる環境が整っている」と感じている市民の割合	56.0%		↗
生涯学習施設利用者数（年間）	665,426人		650,000人

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		30,639	30,525	30,800			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（使用料　）	18	15	14			
一般財源		30,621	30,510	30,786			
新規・拡充	主な事業内容						
	女性青少年会館・勤労青少年ホームの管理運営	30,600	30,486	30,800			
	施設整備・備品購入	39	39				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	29,700 増減 (d)-(c)
30,800			0
14			0
30,786			0
要求額	説明		
30,800			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・施設の管理運営 各種講座等を実施 勤労青少年ホームと合わせて18,837人が利用	
評価等	・施設を広く知ってもらい利用促進につなげるため、各学校への出前講座の実施や多数のワークショップの開催、関係機関や地域と連携した取り組みを行った。 ・駅西地区のまちづくりに合わせ、複合化・多機能化などの検討をすすめた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・施設のより一層の利用促進を図る。 ・駅西地区まちづくり構想に基づき、具体的な機能等の検討をすすめる。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	94410　青少年健全育成事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント	(2)	夢や希望が持てる環境づくり		
担当課	市民活動部　生涯学習課	内線	2361		項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	Ⅱ　いとなみを育てる 若者と女性が活躍できるまちをつくります
					目	4	女性青少年推進費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・青少年健全育成団体の支援等を通じて、健全な青少年を育成する。 ・「二十歳のつどい」を開催する。 ・旧友と近況を語らい、今後に向かって励まし合う場を提供する。 ・地元高山市を意識し、地域社会への参加を考える機会とする。	概要	・青少年健全育成活動 ・青少年健全育成団体の活動に対する助成 ・高山地域は全中合同で支所地域は中学校区で実行委員会を組織し二十歳のつどいを開催 ・市内の事業者や団体と連携して開催し、地元企業情報や就職・起業支援情報等を二十歳の若者に対して発信

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		1,930	1,641	4,650			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（　　）						
一般財源		1,930	1,641	4,650			
新規・拡充	主な事業内容						
	青少年育成推進員による青少年の育成活動	380	100	110			
	青少年健全育成団体の活動支援	1,500	1,500	1,500			
	二十歳のつどいの開催			3,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	財務部査定額	市長査定額	実施計画額 5,000 増減 (d)-(c)
4,637			△ 13
4,637			△ 13

要求額	説明
101	
1,500	
3,000	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・青少年健全育成活動 少年の主張コンクール　来場者180人（YouTube　712回再生） 街頭啓発活動　11月　MSリーダーズ53人、MSJリーダーズ65人、総勢141人参加 家庭の日図画・ポスター展　応募　図画50点　ポスター1点 家族スナップ写真展　応募31点 家庭の日図画・ポスター展、家族スナップ写真展　来場者数375人 ※高山市民憲章推進協議会主催　版画年賀状コンクールと同時開催 ・青少年健全育成団体の活動に対する助成	
評価等	・青少年健全育成団体、町内会、まちづくり協議会の連携強化を図る必要がある。 ・少年の主張コンクールなどオンライン配信し、より多くの方に視聴いただくことができた。 ・家庭の日図画・ポスター展、家族スナップ写真展を高山市民憲章推進協議会主催の版画年賀状コンクールと同時開催することで、多くの方に作品を見ていただくことができた。	
次年度以降の考え方（担当課）	・青少年健全育成団体など、社会の変化に応じた活動のあり方を協議・検証しながら取り組みを進める。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	94500　図書館管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
担当課	市民活動部　生涯学習課	内線	2397		項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	
					目	5	図書館費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・図書館の適正な管理運営と、市民の多様な利用を促進する。 ・市民の多様な学習活動を促進し、広く文化的風土を醸成することで市民の教育文化の向上を図る。	概要	・指定管理者による施設の管理運営

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
文化芸術や生涯学習などに触れ、学び、成果を活かせる環境が整っている」と感じている市民の割合	56.0%		↗
生涯学習施設利用者数（年間）	665,426人		650,000人

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		304,120	302,216	290,980			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（使用料、飛騨高山ふるさと基金繰入金　等）	13,000	13,015				
一般財源		291,120	289,201	290,980			
新規・拡充	主な事業内容						
	図書館の管理運営	260,320	260,240	260,110			
	施設整備・備品購入	43,800	41,976	30,870			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	278,500 増減 (d)-(c)
337,278			46,298
10			10
337,268			46,288

要求額	説明
259,640	
77,638	空調設備改修継続費：R8～R9

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・指定管理者による施設の管理運営 ・利用状況 蔵書数　300,403点 利用登録者数　15,688人 貸出利用者数　134,768人（延べ） 貸出点数　371,319点 ・施設整備 灯油式（KHP）から電気式（EHP）へ空調改修、LED化改修　ほか
評価等	・資産形成講座など、時代や若者のニーズに合わせた講座を開催した。 ・柔軟な施設利用が可能であることのPRや、多様な主体と協働したイベントの開催を通し、利用促進を図った。 ・市民ニーズや地域課題等の変化に応じて資料の購入や配本ができるよう選書方針を定めた。 ・郷土近代文学資料研究事業について、資料の整理を完了した。 ・LED化改修などによる施設環境の向上が図られた。
次年度以降の考え方（担当課）	・市民のニーズに沿った事業を展開し、施設のより一層の利用促進を図る。 ・施設の適切な管理と計画的な改修を行う。 ☑ 維持・改善　☐ 拡大　☐ 縮小　☐ 廃止検討　☐ R7完了　☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方（担当課）	☐ 維持・改善　☐ 拡大　☐ 縮小　☐ 廃止検討　☐ R8完了　☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・図書館の施設整備（照明LED化、空調設備改修）に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	94600　文化芸術振興事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画、文化芸術振興指針、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
担当課	市民活動部　生涯学習課	内線	2361		項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	Ⅲ　まちを整える 暮らしを豊かにする環境を整備します
					目	6	文化振興費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・市民の主体的な文化芸術活動を支援する。 ・文化芸術の振興を図る。	概要	・市民主体の文化芸術活動に対する支援 ・美術展覧会等の開催 ・文化芸術に触れる機会の提供 ・こども夢創造事業（文化芸術）の実施

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
文化芸術や生涯学習などに触れ、学び、成果を活かせる環境が整っている」と感じている市民の割合	56.0%		↗
生涯学習施設利用者数（年間）	665,426人		650,000人

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		42,190	36,865	40,190			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（文化振興事業雑入、飛騨高山ふるさと基金繰入金）	20	5	20			
一般財源		42,170	36,860	40,170			
新規・拡充	主な事業内容						
	文化芸術活動に対する助成	10,500	5,424	8,500			
	市美術展覧会・市所蔵美術品展の開催	4,740	3,910	4,740			
	市民、小学生を対象とした文化芸術鑑賞	22,800	22,800	22,000			
	飛騨春慶弦楽器の活用	2,000	2,000	2,000			
	こども夢創造事業（文化芸術）	2,500	2,500	2,500			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	42,200 増減 (d)-(c)
40,410			220
20			0
40,390			220
要求額	説明		
8,500			
4,960			
22,000			
2,000			
2,500			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・高山市文化芸術振興激励金：11件（個人8名、団体3件） ・第70回高山市美術展覧会の開催（出品数311点、来場者数2,246人） ・市所蔵美術品展「たまゆら写真展」の開催（図書館展示　展示作品15点） ・市民文化芸術鑑賞事業：14回　8,831人来場 ・小学校芸術鑑賞事業：音楽（小学校7校）894人、観劇（小学校21校6年生）711人 ・こども夢創造事業：5回、100人 ・飛騨春慶弦楽器演奏会の開催（12会場　計12回開催、参加人数：943人） ・文化芸術活動支援事業補助金：12件（継続5件、創造7件）	
評価等	・専門的な知見をもつ市民や団体と連携することで、より充実した美術展覧会等を開催することができた。 ・市民が主体的に行う文化芸術活動に対し助成をすることで、市の文化芸術振興を図った。 ・市民のニーズを踏まえ、質の高い文化芸術事業を実施した。 ・こどもたちに優れた芸術を鑑賞する機会を提供し、感性と創造力の醸成に寄与した。	
次年度以降の考え方（担当課）	・市民が主体となって行う文化芸術活動に対する支援策について、より効果的な内容となるよう補助事業の効果検証及び見直しを行うとともに、事業の外注についても検討を行う。 ・美術展覧会等の開催を通じて、文化芸術の振興を図る。 ・市民が優れた文化芸術に触れる機会を提供する。 ・こどもたちが文化芸術に触れる機会を確保する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	94620　文化伝承館管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画
					款	9	教育費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
担当課	市民活動部　生涯学習課	内線	2349		項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	Ⅲ　まちを整える 暮らしを豊かにする環境を整備します
					目	6	文化振興費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・文化伝承館の適正な管理運営と、市民の多様な利用を促進する。 ・市民の間に深く根付いてきた伝統文化を学び、親しみ、伝承するとともに、市民の文化意識の高揚を図る。	概要	・指定管理者による施設の管理運営

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
文化芸術や生涯学習などに触れ、学び、成果を活かせる環境が整っている」と感じている市民の割合	56.0%		↗
生涯学習施設利用者数（年間）	665,426人		650,000人

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		7,600	7,574	5,610			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（　）						
一般財源		7,600	7,574	5,610			
新規・拡充	主な事業内容						
	文化伝承館の管理運営	5,620	5,594	5,610			
	施設整備・備品購入	1,980	1,980				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	5,500 増減 (d)-(c)
5,610			0
5,610			0

要求額	説明
5,610	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・指定管理者による施設の管理運営 ・利用状況 利用者数　1,254人 ・施設整備 照明LED化改修工事	
評価等	・施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 ・施設予約システムの運用により、利用者の利便性が向上した。	
次年度以降の考え方（担当課）	・施設のより一層の利用促進を図るため、利用方法等について検討する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	94900　生涯学習推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり		
					項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	
担当課	市民活動部　生涯学習課	内線	2350		目	9	生涯学習推進費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・生涯学習機会の提供と充実を図る。	概要	・こども夢創造事業（科学）の実施 ・多様な生涯学習情報の提供 ・多様な学習情報やイベント情報を提供するプラットフォームの運用

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
文化芸術や生涯学習などに触れ、学び、成果を活かせる環境が整っている」と感じている市民の割合	56.0%		↗
生涯学習施設利用者数（年間）	665,426人		650,000人

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		4,088	2,362	3,210			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（　飛騨高山ふるさと基金繰入金　）	1,000	0				
一般財源		3,088	2,362	3,210			
新規・拡充	主な事業内容						
	こども夢創造事業（科学）	1,510	1,394	1,210			
	生涯学習情報プラットフォームの構築及び運用	2,578	968	2,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	3,600 増減 (d)-(c)
3,210			0
3,210			0
要求額	説明		
1,210			
2,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・こども夢創造事業の実施（3回、94人） 施設見学（ジオパーク＆地熱発電所）　参加者35人 クルマを楽しく学ぼう@高山自動車短大　参加者19人 ものラボワークショップ　参加者40人 ・オンライン生涯学習情報プラットフォーム「みんかな高山」を構築	
評価等	・こども達が科学やものづくりを通じて将来の夢や職業意識を育むことができるような事業を開催した。 ・こども夢創造事業（施設見学）については、事業内容の見直しを行い、こどもたちが地域の自然や科学に対する理解を深め、興味・関心を高められるような取り組みとした。 ・市内で実施される生涯学習情報等を一元的に発信および検索できるプラットフォームを構築した。	
次年度以降の考え方（担当課）	・生涯学習情報プラットフォームを活用し、市民の学びや体験活動の充実を図る。 ・こどもたちが、科学技術にふれる機会を提供するため、企業や団体の協力による直接体験の機会を充実する。 ・こども夢創造事業の実施方法や実施内容について見直しを行う。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	94910　家庭教育充実事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画
					款	9	教育費			ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり		
					項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	
担当課	市民活動部　生涯学習課	内線	2361		目	9	生涯学習推進費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術		

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・学校や地域との関わりの中で教え学び合えるつながりのある家庭教育を促進する。 ・PTAが行う、親子の学び合いやふれあい活動を支援する。	概要	・家庭教育講座の開催 ・市PTA連合会の活動に対する支援

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
「こどもが健やかに育つ環境が整っている」と感じている市民の割合	73.5%		↗
こどもの健全育成を図る活動を行う市民活動団体登録件数	44団体		50団体

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		890	678	890			
特定財源	国費（　　）						
	県費（　　）						
	その他（　　）						
一般財源		890	678	890			
新規・拡充	主な事業内容						
	講演会・講座の開催	480	279	480			
	市PTA連合会の活動支援	300	300	290			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	900 増減 (d)-(c)
890			0
890			0

要求額	説明
480	
290	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・家庭教育講座の開催支援 市・学校・PTA等で206回の講座・講演会等を開催。うち「学ぶPTA」を8校で実施 ・PTA連合会の活動に対する助成
評価等	・学校やPTAと連携し、保護者を対象とした家庭教育講座の開催を支援した。 ・市PTA連合会の研修会をオンライン開催とし、保護者のニーズに応じた学びの場を提供できるよう支援した。
次年度以降の考え方（担当課）	・家庭教育の学習機会の提供と充実を図る。 ・地域・学校・各種団体が連携した家庭教育を推進する。 ・PTAがより良い活動ができるよう団体を支援する。 ☑ 維持・改善　☐ 拡大　☐ 縮小　☐ 廃止検討　☐ R7完了　☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方（担当課）	☐ 維持・改善　☐ 拡大　☐ 縮小　☐ 廃止検討　☐ R8完了　☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	

事業シート（令和9年度予算）

事業名	94920　生涯学習施設等管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備
					款	9	教育費			ポイント	(1)	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり
					項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流
担当課	市民活動部　生涯学習課	内線	2397		目	9	生涯学習施設推進費			施策分野	(4)	生涯学習・文化芸術

根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画
市長公約	Ⅲ　まちを整える 暮らしを豊かにする環境を整備します

1.事業の目的・概要（Plan）

目的	・生涯学習施設の適正な管理運営と、市民の多様な利用を促進する。 ・市民の文化芸術の向上と福祉の増進を図る。	概要	・指定管理者による施設の管理運営

総合計画等　主な指標	R7実績	R8実績	R11目標
文化芸術や生涯学習などに触れ、学び、成果を活かせる環境が整っている」と感じている市民の割合	56.0%		↗
生涯学習施設利用者数（年間）	665,426人		650,000人

2.事業の実施結果等（Do）

（千円）

歳出事業費（職員人件費を除く）		R7 最終予算	R7 決算 (a)	R8 当初予算 (c)	R8 最終予算	R8 決算 (b)	R8 増減 (b)-(a)
		41,187	39,379	43,115			
特定財源	国費（　）						
	県費（　）						
	その他（使用料、生涯学習施設使用雑入　）	5	238	24			
一般財源		41,182	39,141	43,091			
新規・拡充	主な事業内容						
	生涯学習施設等の管理運営	41,099	39,291	41,305			
	施設整備・備品購入	88	88	1,810			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和9年度予算編成（Action）

（千円）

R9予算 要求額(d)	R9予算 財務部査定額	実施計画額 市長査定額	373,300 増減 (d)-(c)
262,599			219,484
926			902
261,673			218,582

要求額	説明
43,422	
219,177	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略（※）する場合があります。

3.令和7年度事業実績、評価等（Check）　R8.8実施

事業実績	・指定管理者による施設の管理運営（2施設） ・利用状況 利用件数　850件 利用者数　29,248人 ・備品購入 国府文化ホール楽屋用モニター購入	
評価等	・施設のより一層の利用促進を図る必要がある。 ・施設予約システムの運用により、業務効率と利用者の利便性が向上した。	
次年度以降の考え方（担当課）	・施設のより一層の利用促進を図る。 ・音響や照明、空調設備の更新など必要な整備を実施する。	☑ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R7完了 ☐ R8完了予定

5.令和8年度事業実績、評価等（Check）　R9.8実施

事業実績		
評価等		
次年度以降の考え方（担当課）		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R8完了 ☐ R9完了予定

担当課予算要求ポイント	・丹生川文化ホールの施設整備（空調設備改修、音響機器・舞台照明改修）に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	
市長査定の考え方	